

令和6年度

若者世代が参画する地域づくり

選挙権年齢に続き、令和4年4月からは成人年齢も18歳に引き下げられました。

学習指導要領では、令和3年度に中学校「公民」が改訂、令和4年度には高等学校に「公共」が新設され、現代社会の諸課題について中高生が探究活動を展開し、社会への関心を育むことが期待されています。こうした中、すでに複数の自治体で「若者会議」や「子ども議会」などが開催され、地域と若者の関わりを深める取組が進められています。

この研修では、若者世代の地域に対する意識を醸成し、若者世代の意見を施策やまちづくりにつなげる取組について講義や事例を通して学びます。

開催要領

日 程

令和6年9月9日(月)～9月11日(水) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

企画、まちづくり、コミュニティ振興等の業務に関わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,000円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年7月23日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和6年

9月
9日(月)

- 11:00~ **入寮受付・昼食**
- 12:30~ **開講・オリエンテーション**
- 13:00~15:35 **講義 人口減少時代の自治体経営と若者が参加しやすいまちづくり**
東京都立大学法学部 教授 大杉 寛 氏
- 人口減少時代の自治体経営には、若者や女性をはじめ地域内外の多様な「人財」が活躍できる環境づくりが求められています。若者世代が参加することによる効果や、彼らが参加しやすい仕組みづくりについて、事例を上げて説明いただきます。
- 15:50~17:00 **演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム**
東京都立大学法学部 教授 大杉 寛 氏
- 受講者の自治体で行っている、又はこれから行おうとしている若者のまちづくりへの参加を進める取組について、ワークショップ形式で意見交換を行い、よりよい取組へのヒントをつかみます。
- 17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和6年

9月
10日(火)

- 9:25~10:35 **事例紹介① デジタルネイティブが参加しやすいまちづくり**
福島県西会津町 最高デジタル責任者(CDO) 藤井 靖史 氏
- 地域で若者がプロジェクトを実現するとは。人口約5,300人の小さなまち西会津町の事例、デジタルシチズンシップやDecidim、DXといったキーワードから紹介いただきます。
- 10:50~12:00 **事例紹介② 新城市若者議会について**
愛知県新城市市民自治推進課
- 2015年に「新城市若者条例」・「新城市若者議会条例」に基づき設置された若者の力を活かすまちづくり政策を検討するための「新城市若者議会」の取組のほか、現在新城市で取り組んでいる若者の力を活かすまちづくり政策や取組について紹介いただきます。
- 13:00~14:10 **事例紹介③ 多摩市若者会議を中心とした多世代協創の地域づくり**
東京都多摩市協創推進室 市民自治・コミュニティ担当主査 西村 信哉 氏
合同会社MichiLab 高野 義裕 氏、高木 康裕 氏
- 2017年から多摩市の事業として開始した「多摩市若者会議」は、市内外から3年間で延べ735名の参加を得、4年目からは市との協力関係を継続・発展しながら参加メンバーが設立した「合同会社MichiLab」による自立運営体制に移行。市が進める多世代・多分野の「協創」の取組と併せて、これまでの活動や今後の展開、また多様に進む中高生と協働した取組などを紹介いただきます。
- 14:25~17:00 **講義 若者を本気にさせるファシリテーション**
合同会社TAO 代表 林田 暢明 氏
- アイデアを出して終わりのワークショップではなく、企画から実施まで若者が自ら動いていくような活動にするためのファシリテーションの設計について、解説していただきます。

令和6年

9月
11日(水)

- 9:25~12:00 **演習 ワールドカフェ「若者とまちをつくるために取り組む第一歩」**
合同会社TAO 代表 林田 暢明 氏
- 受講者がワールドカフェの参加者となり、若者世代が参画する地域づくりをしていく取組のファーストステップを考えます。
- 12:00~12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。